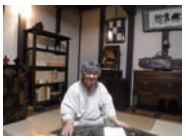


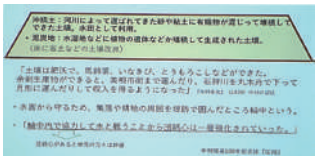
2023 年度 活動報告

岩井千華

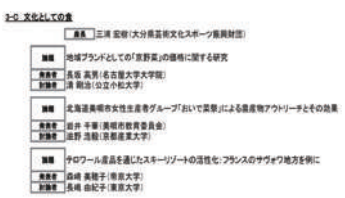
美唄市東明三区出身
祖父達は三菱美唄炭鉱員

1． 中村地区「おいで菜祭」・地域学の価値化と学会での発表による公共化

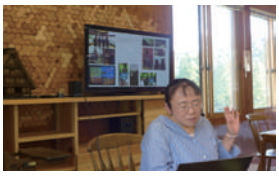
①日本文化政策学会（兵庫県立芸術文化観光専門職大学）



②文化経済学会＜日本＞(公立小松大学)

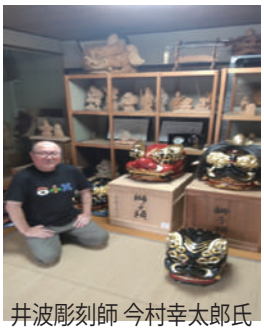


③利賀インターゼミ（富山県南砺市）

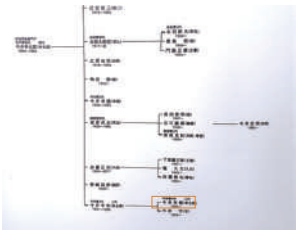


3 つの学会で美唄市の農業・農村・女性・地域づくり資源としての中村「おいで菜祭」について発表し、特に日本文化政策学会では、農業で生きる女性としての価値が評価された。

2． 峰延獅子舞に使われてきた「獅子頭」調査



井波彫刻師 今村幸太郎氏



美唄市立郷土史料館にある獅子頭の三代目は写真の今村幸太郎氏の祖父である初代 今村幸太郎氏が製作したことがわかった。

3． 美唄市小学校農業科の授業に参加

田植え・稲刈り・はさがけ・脱穀を体験することで、地域に根ざしている農業から、暮らしそれ自体を理解することができた。

4． 中村の農家の方々で結成された「おいで菜祭」への参与調査

1999 年に女性 12 名で結成され、2002 年ゆたかニュータウンで移動販売を始める。
7 月～ 10 月まで毎週火曜日 1 時間限定でメンバーが手塩にかけて育てた減農薬の野菜を軽トラ車 3 台にのせ、ほぼ原価で販売している。買い物難民化している団地等地域のみなさんに好評。
7 月～ 10 月まで毎回参与調査を行い、ここでの調査をもとに学会で発表をしている。

5． 北海道農業・農村振興審議会委員として

2023.8.24

2024.2.1

食料安全保障や、改正される食糧農業農村基本法について質問したり、担い手についての問題を提示した。

6． 市民文化団体への参加と支援
（非常勤講師・ミニワークショップ・討論者など）

加藤清晴パソコン教室非常勤講師

くりの木サロン

友の会東最寄り

7． 中学生・新人教職員研修の案内役

8． 美唄を担ってきた方々へのインタビュー

（右・挿絵画家 高田三郎氏）

（中央・美唄の酪農家 松下宣二氏）

（美唄の農家 渡邉正美氏）

（美唄のクルミ農家 上村征子氏）